



特別活動ハンドブック

一 小学校 クラブ活動



1 目標

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

次の6つの条件があります。

※望ましい集団活動

- ア 活動の目標を全員でつくり、その目標について全員が共通の理解をもっていること
- イ 活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、それを協力して実践できること。
- ウ 一人一人が役割を分担し、その役割を全員が共通に理解し、自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができること
- エ 一人一人の自発的な思いや願いが尊重され、互いの心理的な結び付きが強いこと
- オ 成員相互の間に所属感や所属意識、連帯感や連帯意識があること
- カ 集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換や相互の関係が助長されるようになっていること。

※望ましい集団活動を通して…「（実際の）活動を行って」の意味です。「なすことによって学ぶ」（Learn by Doing）が特別活動の原則手法です。

クラブ活動の目標

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 内容

学級・学年とは別に、4年生以上の同じ興味・関心をもった児童でクラブをつくって活動します。

学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。

- (1) クラブの計画や運営
- (2) クラブを楽しむ活動
- (3) クラブの成果の発表

3 各内容における指導の実践

○クラブ活動例

料理クラブ、演劇クラブ、パソコンクラブ、まんがクラブ、
卓球クラブ、ゲームクラブ、科学クラブ、
工作クラブ、手芸クラブ、おはやしクラブ など。

※クラブ活動の組織の条件は・・・

- ア 児童の興味・関心ができるだけ生かされる組織であること
- イ 教科的な色彩の濃い活動を行うクラブ活動の組織にならないこと
- ウ 学校や地域の実態に即した組織であること



○指導計画作成における配慮事項

- 学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。
- 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る。
- 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設の活動を工夫する。
- クラブの組織は上記のア・イ・ウを踏まえ、児童の興味・関心に基づいて編成する。

(1) クラブの計画や運営について

- ①クラブの年間指導計画
- ②各クラブ年間指導計画
- ③各クラブ年間活動計画
- ④各クラブの1時間単位の活動計画

特別活動の全体
計画をもとに計
画しましょう。

<配慮事項について>

- ア 全校の教師により作成すること（前教師の共通理解や指導姿勢を基盤として、指導する。）
- イ 年間指導計画に示す内容
（目標、組織・構成、活動時間の設定、予想される主な活動、備品、消耗品、活動場所、
指導上の留意点、教師の指導体制、評価の観点）
- ウ 実施学年
（主として第4学年以上の児童であるが、小規模校においては、第3学年以下の実施も考えられる。）
- エ クラブへの所属
（計画的、継続的に行われることが望ましいため、その学年において同一のクラブに所属して活動することを原則とすることが望ましい。）
- オ 時間の取り方（クラブ活動の目標が十分に達成できる授業時数を設定する。）

①クラブ活動の年間指導計画

本校におけるクラブ活動の目標		異年齢による集団活動を通じて、あたたかい人間関係を育てるとともに、共通の興味・関心を追求する活動を通して、個性の伸長を図り、自主的、実践的な態度を育てる。	
学期	予想される主な活動内容	指導上の留意点	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介、役員選出（立候補がよい）（ア） ○ 活動内容の話合い、年間計画の作成（ア） ○ 活動計画に沿った、活動（イ） ○ 1学期のまとめと反省（ア） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発意・発想を生かし、活動内容等を決める。 ・年間、学期、月ごとに活動計画を立てる。 ・各自のめあてをもって取り組めるようにする。 ・児童一人一人のがんばりを積む。 	
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2学期の活動計画作成（ア） ○ 活動計画に沿った、活動（イ） ○ 2学期のまとめと反省（ア） 		
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3学期の活動計画の作成と発表会に向けた話合い（ア） ○ 活動計画に沿った、活動（イ） ○ 1年のまとめと評価（ウ） 		
クラブ名		主な活動例	
料理・手芸 ソフトバレー コンピュータ		<ul style="list-style-type: none"> ○料理を作る、作品を作る ○ルールを決め試合を楽しむ ○Eメールによる交流 	

ア クラブの計画や運営
イ クラブを楽しむ活動
ウ クラブの成果の発表

成果の発表の場も確保し、の年間計画に発表練習などの計画をいれる。

②教師が作成する年間指導計画（コンピュータクラブ）

※異年齢の仲間と協力しながら、共通の興味・関心を追求する活動を充実させる。

コンピュータクラブ年間指導計画 指導者○○○ 活動場所 コンピュータ室 クラブ員 ○○名					
指導のねらい		異年齢のふれ合いを大切にし、コンピュータに慣れ親しみ、活動を楽しませる。			
学期	時数	予想される活動	指導上の留意事項	備品・消耗品	評価規準
1	8～12	<ul style="list-style-type: none"> ○組織づくり（役員決め、グループ編成等） ○活動計画の立案 ○コンピュータに慣れ親しむ ○1学期のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の意義を理解させ、創意工夫して活動できるよう助言する。 ・児童の発意を生かし計画を立てられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ ・ソフト ・記憶媒体等 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった計画を立てることができる。
2	11～15	<ul style="list-style-type: none"> ○活動計画の立案 ○インターネットの活用 ○2学期の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータソフトの使い方について学べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト ・記憶媒体等 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組もうとしている。

異年齢でグループを組むなど工夫する。

全員で一つの作品を作るなど、協力する状況を作る。

③児童による活動計画（英会話クラブ）

※児童に任すことができない条件を明確にし、クラブ目標を達成する内容にする。

会話クラブ活動計画 クラブ長 ○○○○ 記録○○○○ 活動場所 国際交流室 クラブ員○○名					
目標		英会話を楽しみ協力して運営にあたる。			
学期	時数	月	活動内容	準備する物	
1	8～12	4	○役割分担（クラブ長・記録等）年間活動計画を立てる。	英会話の本 録音テープ 英会話ソフト等	
		5	○英語の歌やゲームを通して、楽しく英語に親しむ。		
		6	○英語の歌やゲームを通して、楽しく英語に親しむ。		
3	6～8	1	○クラブ発表会の計画を立てる。	模造紙 展示版	
		2	○役割分担、英語の歌等発表の準備をする。		

	3	○1年間の活動を反省し次の年の参考とする。	
--	---	-----------------------	--

④ 1 単位時間の活動計画（科学クラブ）



※活動のめあてを全員でつくり、そのめあてについて全員が共通の理解をもつことができるようにする。

日時	○月○日（○）○時間目	活動場所	理科室
内容	ブーメランの作り方を知り、グループで協力して作り上げる。		
めあて	自分の考えを生かしたブーメランを作ろう！		
基本的な流れ	活動の予定	時間	気を付けること
1 はじめのあいさつ	1 はじめのあいさつ	5分	あいさつや出席確認、今日の活動内容の説明など、 児童のできることは、部長を中心に輪番制にするなど、児童に任せる。 ○元気に行き全員のやる気を高める。 ○道具の安全な使い方や活動の約束を確認する。 ○決められた場所と時間を守って活動する。 ○周囲に気を付けて、人に向かって投げない。 ○投げ方や改良の仕方を教え合う。 ○グループ内で相手を変えて、よいところを認め合う。 ○基本の作り方を工夫して、自分で考えたブーメランを作り上げる。 (羽の枚数や大きさ、材料、おもりの工夫など)
2 出席確認	2 出席確認	35分	
3 今回の活動予定の確認・準備 (開始前に準備してもよい) ※役割分担	3 今日の活動予定の確認・製作の準備		4 グループに分かれて活動 ・リーダーを中心に試験飛行・改良を行う。
4 活動	5 活動の振り返り ・自己評価 ・友達のいいところ	5分	
5 活動の振り返り	6 次回の活動の計画立案、確認		9 終わりのあいさつ
6 先生の話し	7 片付け (終了後、片付けてもよい)	通常授業と同様に、活動の振り返り、先生の話しは大切。	
7 終わりの挨拶			

(2) クラブを楽しむ活動 活動実践例

(1) 料理・手芸クラブ



料理と手芸の時期を分け、グループで活動している。料理は、パフェ作りやホットケーキ作りなど、45分以内で準備・片付けまでできる範囲で行う。材料は、それぞれ児童が持ち寄ることも考えられるが、担当教諭が用意をすると確実に活動できる。そして活動後集金をする。手芸は、家庭科の材料の残りなどを利用して、簡単な裁縫をする。

作品制作などの文化クラブは、全員で一つの作品を作ったり、学年を超えて教え合えたり、交流できるようにする。

(2) スポーツクラブ(地域の方との活動)



年間計画の前半は野球・サッカーなどのスポーツ、後半地域の老人クラブの方々と、スポーツグラウンドゴルフをする。毎回5, 6人指導に来校。早めに来てクラブに間に合うように準備をしてくださる。クラブ活動のグラウンドゴルフを通して、地域のお年寄りと接する機会もつことができる。

グループごとに、一人以上の地域の方がつき、スコアを記入しながら、アドバイスをしてくれる。道具は指導者の方や近くの公民館から借りている。

(3) クラブの成果の発表

- 成果の発表の場は以下のものが考えられます。
- 運動会や学芸会などの学校行事、児童会全校集会
 - 校内放送や展示による日常の発表
 - 年間の活動のまとめとして行う展示や映像、実演（クラブ発表会）
 - 校外活動（音楽会、敬老会、競技会や地域の催し物への参加）

○**成果の発表**は児童の入部意欲や活動意欲の向上につながる。**掲示板や集会、学校行事での発表**なども、年間計画に盛り込むとよい。

クラブ発表会について

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の活動の成果を発表することにより、児童の活動意欲を高める。 ・クラブ活動への関心・意欲を一層高め、クラブ選択のための参考にする。 		
日時	2月〇日（〇）第5校時	場所	体育館
参加児童	全児童または3年生以上	準備・運営	代表委員会を中心に各クラブ長との連携
次第	①はじめの言葉 ②代表委員あいさつ ③各クラブの発表（実演など） ④3年生の感想発表 ⑤校長先生のお話 ⑥終わりの言葉		
発表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラブが出入りも含め5分以内で発表（ステージ、作品など） ・実演発表は、ステージ上や体育館フロアを活用 		
役割分担	・プログラム係・司会進行係 ・会場係 ・放送係 ・記録係（写真など）など		
他の工夫例	①ビデオ発表・・・2月〇日 ②展示発表・・・2月〇日～〇日 児童玄関前		

(4) その他

クラブ編成の計画について

※前年度のうちに希望を募る。

クラブ加入の優先順位は、**6年生を優先とするが異年齢の組織**になるようにする。

クラブ選択の最終結果の記録は、次年度のクラブ編成に生かす。

クラブ選択の前に、対象児童に対して所属までの流れやクラブ活動について**オリエンテーション**を行うことも効果的である。

	月	活動例	参加者	主な活動内容
クラブ選択	2	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブ紹介 ○クラブ発表会 	全学年 3年生以上	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブの掲示板や昼の放送で実際の活動状況を紹介する。 ○各クラブの希望により、1年間の成果をステージで発表する。
組織づくり	3	<ul style="list-style-type: none"> ○クラブ見学・体験 ○クラブ希望調査並びに新設クラブ希望調査 ○新設クラブ会議 ○クラブ調整会議 ○所属クラブの決定 ○来年度クラブ活動の準備 	3年生 3～5年生 特活部 3～5年生 特活部	<ul style="list-style-type: none"> ○3年担任引率のもと、じっくり見学できるようにする。 ○新年度クラブ活動への希望調査と新設クラブの希望を行う。（新設されたら必ず加入することが前提） ○人数、活動場所、指導者などを考慮し新設するかどうかを決定する。 ○新設希望の可否やその理由を伝えた上で、希望調査をもとに人数調整を行う。（児童の希望を尊重しながら、学年や男女などにも配慮して調節を行う。） ○クラブ活動記録簿を作成する。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○新年度クラブ構成計画 ○指導教師の決定 		<ul style="list-style-type: none"> ○指導教師を決定する。全教職員の協力による指導体制を整え、担当を複数にするなど、担当がない状況で実施することのないようにする。

4 評価

(1) 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての知 識・理解
共通の興味・関心を追求するために、積極的にクラブの活動に取り組もうとしている。	共通の興味・関心を追求するために話し合い、クラブの一員として、よりよいクラブづくりについて考え、判断し、自己を生かして実践している。	共通の興味・関心を追求するクラブ活動の意義やそのための活動内容、方法などについて理解している。

(2) 評価の対象

指導計画	児童の思いや願いを生かし、より自発的、自治的な活動が展開されるようなクラブ活動年間指導計画であったか。
指導方法	異なる学年の児童が仲良く協力し、創意工夫しながら自発的、自治的に共通の興味・関心を追求することを楽しむ活動ができたか。
個人の変容	自らの興味・関心を深く追求することによって、児童が自分の個性を発見したり理解したりすることができたか。
集団の変容	異なる学年や学級の児童が一緒になって、集団活動としてのよさを発揮し、同好の興味・関心を追求する集団であったか。

(3) 評価のポイント【評価の場面や手段】

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">活動の足跡を記録する。</div> <p>【評価カード、クラブノート】</p> <p>回数を重ねながら育ちが見えてくるので、「第〇回クラブ活動」と回数を重ねながら記録する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">友達の活動に目をむける</div> <p>【児童の発表と指導】</p> <p>異年齢集団の活動だからこそ、他学級・他学年の児童の活動に目をむける機会を設け、互いのよさに気づかせる。意識して望ましい人間関係を育てる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあてが達成できたか評価する</div> <p>【活動の振り返りの発言】</p> <p>集団のめあて（こんなクラブにしたい）と個人のめあての両方を縦、達成できたか評価する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">活動を振り返って友達のいいところを発表する</div> <p>【活動の振り返り、集会活動】</p> <p>活動の終わりに、その日の活動を振り返って一言述べるなど、友達のよさや個性の再発見できる場にする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">技術的な向上ばかりに目をむけた評価にしない</div> <p>【活動中・活動の振り返り】</p> <p>「ヒットが打てた」「もっとうまくになりたい」という技術的なことばかりではなく、共通のめあて・役割・友達とのかかわり等指導者から評価の観点を助言する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">活動記録のカードの工夫</div> <p>【評価カード】</p> <p>一人一人の活動の様子がわかるので効果的。項目ごとに記号で自己評価、簡単に自由記述ができるスペースを設ける。記述や評価に時間がかからないようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">活動の終末における教師の評価を大切に</div> <p>【活動ごと、年度終わりごと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役割を果たした児童へのねぎらい ○活動の成果（前回よりよくなったところ） ○集団としての高まり （協力、集団行動、士気、役割分担など） 	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>※評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察法 ○児童の記録や作文、作品 ○質問紙法 ○教師相互の話し合い </div>

(4) 評価の生かし方

- 「評価のための評価」ではなく、「次の計画や活動に生かすための評価」にしましょう。
 - 児童に声かけをしたり、活動を見直したり、評価を生かして働きかけましょう。
 - 学級・学年を越え、同好の児童での異年齢集団なので、意識して望ましい人間関係を育てるように指導と評価の一体化を目指しましょう。
- ↓「クラブ活動」がきちんとできているかチェックをしてみましょう。

- 児童の興味や関心を生かしたクラブが設置できている。
- 集団活動が成立している。
- 各クラブの活動計画がある。
- 担当者が、教師の得意なことに依存していない。
- クラブの伝統を育てる意味で、数年間クラブの種類を変えていない。
- 児童が活動の計画を作っている。
- 異学年児童で小グループを作っている。
- クラブ発表会が行われている。
- 3月末までに子どもの所属が決定している。
- 年間20単位時間前後または、それ以上(20~30)実施している。

活動日が少ないと、活動が継続せず、自主的な活動・めあての達成が難しい。

※確認してみましょう。

○「適切な指導」の下、活動が行われているか、見直しをしましょう。

以下は、児童の自治的な活動として任すことのできない条件です。

いずれかに関わるクラブの内容や計画がないですか？

- ・相手を傷つけるような結果が予想される問題
- ・教育課程の変更に関わる問題
- ・校内のきまりや、施設・設備の利用の変更などにかかわる問題
- ・金銭の徴収にかかわる問題
- ・健康・安全にかかわる問題 など

○クラブの計画と運営について、見直しをしましょう。

確認しましょう。

- ・児童が自発的、自治的に運営できる年間計画を作成する。
 - ・児童の興味・関心が生かされるよう工夫する。
 - ・異年齢集団の交流による活動を深める。
 - ・各教科、道徳や総合的な学習の時間との関連を図った活動を展開する。
 - ・低・中・高学年担当の教師が複数配置するよう、工夫する。
- (クラブの時間が他学年の下校時刻や行事と重なってしまうことを避けるため など)
- ・教師主導の活動ではなく、適切な指導の下、児童によって計画され運営する。

